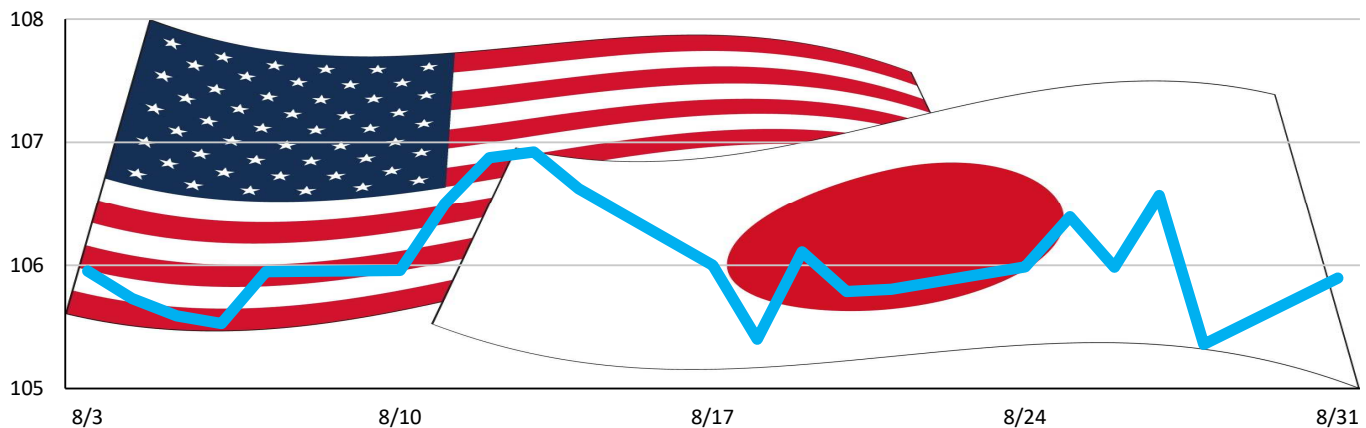


MARKET REVIEW

先月の振り返り：8月のドル円相場は107円前半～105円前半で推移。世界的な金融緩和による過剰流動性供給を背景にしたドル全面安の流れが続く中、米雇用統計の結果が改善傾向にあることや中南米の感染拡大を危惧した新興国通貨安などでドルが買い戻され、107円台を回復した。それでもドル全面安の流れに変わりはなく、安倍首相の健康不安説もあり、105円割れをうかがう局面もあった。FOMC議事録で米追加緩和観測が後退したことやパウエルFRB議長の講演でもドル安に関する発言が無かったことで再び107円が近づいたが、月末に安倍首相辞任の一報でパニックが先行し、一時105円前半まで円高が進行。ただ後任が選出されるまでは職にとどまることから、一先ず落ち着きを取り戻した。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：安倍首相辞任報道でマーケットはパニックとなり、日本の政治不安が懸念されたが、次の首相が安倍路線を維持できる人物であれば材料として消化済みと考えていだろう。今月も主要国通貨に対してドル全面安の流れが継続していることを念頭におきたい。ドル買戻しの動きも見受けられるが、FRBの金融緩和政策長期化はドル売り圧力となってきた。17日に控えている日米両国の金融政策を見極めようと持ち合い相場となっているため、発表後の動きに警戒が必要だろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
9 / 17 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
9 / 17 (木)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
9 / 17 (木)	20 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
9 / 24 (木)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
9 / 30 (水)	21 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
10 / 2 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
10 / 13 (火)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。